

第2回生物多様性ながれやま戦略策定部会 議事要旨

日 時： 平成29年5月26日（金）14時～16時

場 所： 市役所第2庁舎303会議室

出席委員：

岡田啓治部会長、新保國弘委員、樫聡特別委員、高橋秀治特別委員、
柳沢朝江特別委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

染谷環境部次長兼環境政策・放射能対策課長、遠藤環境政策係長、
大竹主事

傍聴者：0名

議 題：

- （1）生物多様性ながれやま戦略について
（いただいたご意見及びその対応）
- （2）その他

資 料：

資料1：平成29年度第1回生物多様性ながれやま戦略策定部会 皆
様から出たご意見とその対応

資料2：（仮称）生物多様性ながれやま戦略第二期（素案）

発言者	要旨
(議題1) 生物多様性ながれやま戦略について(いただいたご意見及びその対応)	
事務局	～意見とその対応についての説明～
岡田部会長	流山の森林面積に掲載してある、市野谷の森のうち田畑5haがあるという内容についてだが、実際は田畑がほとんどないと思うがいかがか。
新保委員	県の森林整備計画に書いてあるので、変えてしまうと良くない。
岡田部会長	県の計画に書いてあるのであれば、問題ない。
新保委員	新川耕地の自然環境目標は、「生きものが湿田と土水路を行き来できる、流山市最大の水田地帯」とすべき。
樫委員	拠点の新川耕地北部を新川耕地とすると説明があったが、拠点としては北と南の2点を設けるということか。
事務局	南のスポーツフィールド予定地の部分は、現在検討中である。
樫委員	スポーツフィールドは作りにもよるが、スポーツ用であるため、生態系のイメージはあまりない。
新保委員	<p>コウノトリの協議会でモニタリング調査を6～7月に行う予定だ。水田での調査を新川耕地で行う予定なので、おそらく既に地権者とは合意が得られているのではないかと思う。市も、地権者の合意を得てモニタリング調査等行えると良い。</p> <p>資料編の種の保存法、国内希少野生動植物種の説明の中で、オオタカ、ハヤブサ、ミヤコタナゴが生息とかいてあるが、オオタカしか確証がないのでオオタカに絞ると良い。</p>
高橋委員	表紙にオオタカの写真のみという提案があったが、決定事項なのか。
事務局	決定事項ではないので、ぜひ意見がほしい。
柳沢委員	第三章④基盤情報の整備・充実の進捗状況の中身が、日本語が一部おかしい。

事務局	<p>確認して訂正する。</p> <p>基本方針Dの重点プロジェクトに、生物多様性情報コーナーの設置について掲載している。現在はクリーンセンターの情報コーナーと掲載しているが、クリーンセンターに限らず検討するためにも「公共施設での情報コーナーの設置を検討」という内容に変更する可能性がある。</p>
高橋委員	<p>以前も提案したが、公民館等も是非活用すべきだと考える。</p>
新保委員	<p>博物館の入り口での企画展なんかもよいと思う。</p>
事務局	<p>表紙に掲載する写真について、意見をもらいたい。</p>
樫委員	<p>オオタカは象徴なのでよいのではないか。</p>
岡田部会長	<p>オオタカ以外にも、景色の写真やほかの物を入れると良いのではないか。</p>
高橋委員	<p>地区や拠点の代表的な種を掲載してもよい。</p>
<p>オオタカ、ヘイケボタル、フジバカマ、アカシジミ（もしくはムラサキシジミ）、メダカ を表紙とすることで決定した。</p>	
岡田部会長	<p>アカボシゴマダラの写真には、外来種と一言入れておくべき。</p>
<p>～次回の環境審議会で本部会の報告を行うこととした～</p>	